

令和4年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	株式会社ポイントピュール
プロジェクト名	合成乳化剤を使用しない基礎化粧品製造
事業内容	当社は、沖縄県では初となるSDGsに対応した合成乳化剤を使用しない基礎化粧品の製造を行うため、原料超微粒化乳化分散装置、量産化装置を導入し、久米島海洋深層水、沖縄由来原料、国産ヒト幹細胞を含む基礎化粧品大量生産、品質の向上を目指す。
今後の計画	2023年度：研究開発を行い、製品の安全性、優位性を確立する 2024年度：試験的に国内での販売を開始する。 2025年度：県外35トン、県内2トン、海外10トン
最終目標と現状	最終目標) 令和10年度までに、県外、インドネシア、中国、台湾、韓国、フィリピン等アジア諸国へ輸出量1000トン 現状) 研究開発及びマーケティング
補助事業の効果	事業内容 現在、ほとんどの基礎化粧品には水成分と油成分（香料も油成分）が同時に利用されています。通常の状態では水と油は混ざり合わず、両者はきれいな境界線である界面を形成して分離します。水と油を混ぜ合わせる技術のことを乳化といいます。 一般的な乳化には乳化剤（界面活性剤）と呼ばれる物質が必要になります。基礎化粧品で使われている乳化剤のほとんどのものは合成により作られています。 当社が考えるSDGsに対応した乳化とは、合成乳化剤を使用しないで、少量の天然乳化剤と原料超微粒化乳化分散装置を組み合わせることにより、人体、環境に負荷のかからない乳化方法です。原料超微粒化乳化装置を使用することにより、今まで原料にすることができなかった沖縄由来の原料を乳化させることが可能になります。当社は、長年培ってきた基礎研究の成果と原料超微粒化乳化分散装置を組み合わせることにより、これまで存在しなかった乳化（新原料、組み合わせ）基礎化粧品を開発し、量産していきます。現在、補助事業で購入した機器を利用し、研究開発を行っており、2024年度には試験販売を行う目処が立っています。

